

## 令和5年度 生石保育園事業報告

### 1. 概要

#### ①運営方針

- 松山市西部地区は、空港環状線の整備により地域の流入人口も若干増加傾向にあり、月別の入園申込者数も増加しています。定数外の受け入れも行い入所率も例年同様に120%となりました。
- 今後の少子化を見据えて、魅力ある園づくりの一環として年度末に園庭に人工芝を設置しました。年度末の設置であったため、次年度の申込者の増加につながるか効果が期待されます。
- コロナ禍も終わりを迎え、様々な行事の在り方を見直し実施しました。コロナ対策時の保育や行事運営の中での気づきや方法も取り入れながら保育や行事に取り組みました。
- 様々な物の価格上昇により、保育材料や光熱費、食材費などへ影響が大きい一年でした。今までの慣例を見直し、新たに業者を選定するなどランニングコストの削減に取り組みました。  
また、保育のICTの導入に伴い、おたよりなどを配信に切り替えるなどペーパーレス化が進み、印刷代や紙代の節約につながりました。
- 人材確保については、松山市主催の保育のおしごとフェアには、参加者も多く見学などにつながりやすいことから一定の手ごたえを感じています。養成校の学生との連絡も丁寧に行い、次年度以降も採用コストを抑えるために取り組んでいます。
- 法人本部の研修に参加して、チェックリストの活用などを学ばせていただきました。自園でも年度末に作成し、内容の実効性を確かめているところです。

②定員 90名+19名 合計109名

③事業日数 293日 (ほか休日保育 70日実施)

④開園時間 平日 7:00 ~ 20:00  
土曜日 7:00 ~ 20:00  
休日 8:00 ~ 18:00

⑤保育時間 早朝保育 7:00 ~ 8:30  
通常保育 8:30 ~ 18:00 【標準時間認定】  
8:30 ~ 16:30 【短時間認定】  
延長保育 18:00 ~ 20:00

#### ⑥職員数

園長1名、主任保育士1名、保育士25名(うちパート職員10名)  
保育補助1名、アルバイト学生1名、調理員6名(うちパート調理員4名)  
パート用務員1名(障がい者雇用)、嘱託医(内科・歯科)各1名(各年2回健診)

## 2. 保育運営

### ①保育理念

- 子どもは子ども同士認め合い、助け合い、励まし合い、学び合う子ども社会の中で、成長することが望ましいと考えます。
- 私たちは、子どもの個性・人格を尊重し、自立を促し、日々の生活の中で家族とともにその成長・発達の援助を行います。

### ②保育方針

- 社会福祉法人白鳩会メソッド・一日の保育の流れを中心に、子どもたちが主体的に生き生きと生活・活動できる環境を整え、自己を十分発揮し、人として『生きる力』を育む。
- 在園児および地域の子育て支援を行う。
- 愛着関係を確立させ、子どもとの継続的な信頼関係を築く。

### ③保育目標

- 乳児期の愛着関係を基盤とし、認知能力（記憶、計算、判断、決定、言語理解など）と非認知能力（意欲、協調性、粘り強さ、忍耐力、計画性、思いやり、自己肯定感）を育む。

### ④クラス体制

0歳児	いちご組	9名	保育士3名
1歳児	もも組	19名	保育士4名
2歳児	ぶどう組	18名	保育士3名
3歳児	みかん組	20名	保育士2名（うち障がい児加配 1名）
4歳児	りんご組	23名	保育士2名（うち障がい児加配 1名）
5歳児	めろん組	20名	保育士1名

---

合計園児数 109名 保育士15名

主任保育士	1名
フリー保育士	1名
子育て支援担当保育士	1名（パートタイム保育士）
延長・休日保育担当保育士	5名（パートタイム保育士）
加配保育士	1名
療育加配	1名（パートタイム保育士）

### ⑤保育内容

- 0～2歳児クラスは、形としては少人数で生活を行ってはいけるものの、必要以上に声をかけたり手をかしたりする場面が見受けられたため、現場において指導しています。また、保育士の指示語や口数も多い職員もいるため、子どもの姿をよく観察して必要な言葉をかけるようにしていきました。
- 各クラス複数担任でゆるやかな乳児クラスは育児担当制を、幼児クラスではグループ保育を行い

ました。年度末のチェックリストの作成を通じて保育の振り返りにつながり、日頃の保育の理解度や手順方法にも差異が生じていることが分かりました。

- 療育機関に通う子どもも多く、療育機関の巡回などを受けながら集団との関りや入り方を考えていきました。本部でも学んだ安全を確保した上で見守る保育も実践しています。
- リトミックは、園内研修を通じて動きのポイントなどのおさえ直しを行いました。今まで形骸化していた内容も、新しい動きなどを園内研修で勉強し実践することで、子どもたちも集中して取り組めるようになっていきます。
- 石井式漢字教育は、講師を招いての理論研修や毎月の職員間でのロールプレイを通じて指導に差異が生じないように取り組みました。
- 「朝の意味ある運動」は毎日取り組んでいます。内容が形骸化している部分は職員間で学び直し様々な活動を展開できるようにしていきました。
- 体育あそびは、専門講師による指導を2歳児クラスから週に1回行いました。
- 音楽遊びは、専門講師による歌唱や楽器を使ったリズム遊びをしています。
- 造形あそびを年間6回実施しました。子ども一人ひとりが創意工夫し作品を作ることを楽しむ機会となりましたが、その体験が日常の保育につながらない課題が見られます。
- 食育活動として野菜の栽培やクッキング活動を行いました。(トマトクッキング・うどん作り体験・お好み焼きづくりなど) バイキング形式での配膳も再開しました。
- 人権指導、保健指導、食育指導を年間計画に基づいて月1回実施しました。

#### ⑥家庭との連携

- クラス懇談会(年2回) 個別懇談・就学前懇談会(年1回) 保育参加(年1回) 保育参観日(年1回) 家庭訪問(新入園児のみ)を実施しました。
- 保育のドキュメンテーションは継続して行っていますが、経過や過程が伝わりやすいように様式の見直しを行いました。
- CCWcoNnect アプリの電子連絡機能を4月より活用しています。3月にプレ期間を設けたことでスムーズに移行することができました。
- 生活習慣の基本となる「早寝、早起き、朝ごはん」の大切さを様々な機会に伝えていきます。乳児クラスは電子連絡でリズムを把握できますが、幼児は把握しにくいいため次年度は生活習慣調査を行います。
- 新入園児を対象にしたプレ保育を3月に実施しています。
- アンケート等は紙ベースからインターネットのフォームに切り替えたことによって集計結果等を分かりやすく保護者の方に伝えられるようになりました。
- 卒園児(1～2年生)を対象にした里帰り交流を4回実施しています。

#### ⑦人材育成

- 新たな体制での年度となり、各々の役割を理解するため、役職に応じた外部研修などにも参加しました。制度や仕事内容の理解などにおいては引き続き学びを深める必要があります。
- チェックリストの作成に、クラスの職員が携わり作成することで、自身の保育の振り返りや園の

取り組みの理解につながりました。作成する過程の中で、今まで説明が不十分であったことや手順が曖昧になっている所など課題発見につながりました。

- キャリアアップ対象者は計画的に研修を受講しています。また、救命救急などの講師を招いた園内研修も実施しています。

#### ⑧地域の実態に対応した事業

- 子育て支援について（公民館合同事業）

月3回程度火曜日に子育て支援の活動を行いました。0歳児の「赤ちゃん広場」と1歳以上の「さくらんぼ広場」、ベビーマッサージや手形アートなどの講座や講師を招いた育児講座を行いました。

- 小学校との連携・接続について

コロナ禍以降、近隣の小学校が外部の受け入れを制限しているため交流行事等はなくなっています。年2回の保幼小連絡協議会は開催されているため、園児の情報を共有するなど小学校への接続がスムーズにいくように努めました。また、児童クラブの職員との引き継ぎも行き、保育と学校教育の連続性について意見交換を行いました。

- 生石地区の街づくり協議会（福祉部）に参加しています。そこで、生石ふれあい食堂を年間3回実施しました。3世代交流を目的とした場で、遊びの提供など保育園として地域に貢献できるように取り組みました。

- 地域との結びつきを大切に考え、様々な行事などに積極的に参加しました。（文化祭、地域清掃への参加、JA農業祭への参加、地方祭の参加、空港フェスタの参加 など）

- 地元にある自然や社会を知る機会を大切に、地域の方とも交流を深めながら社会体験活動を行いました。（埴生山登山、みかん農家見学、空港見学会 など）

#### ⑨苦情解決

- 保護者からの意見や要望に対しては、概ね24時間以内に保護者に改善内容を伝えるように取り組みました。昨年度は駐車場や近隣道路に関するご意見が2件と保育に関するご意見が1件ありましたが、迅速に対応しご意見をいただいた方には納得していただきました。

#### ⑩リスクマネジメント

- アレルギー児への対応は指示書に基づいた食事の提供と、専用食器やトレーの使用などを用いて誤食を防ぐ取り組みを行いました。また、誤嚥時の対応等も日本赤十字社の職員に教えて頂きました。

- 備蓄品の見直しを行い、期限の近い食品の入替えと追加購入を行いました。施設機能強化推進費を利用し、災害時の蓄電器を購入しています。また、能登半島地震を受けて簡易トイレの追加購入を行いました。

- 災害時を想定した訓練を毎月実施しています。9月にお迎え時に引き渡しの手順等を確認した訓練も実施しています。事業継続計画訓練等に参加し、自園のBCPの作成にも取りかかっています。2月には緊急地震速報が発出される地震（震度4）がありましたが、その際にもコネクトを使用し保護者への状況伝達を行いました。

- ヒヤリハットの収集は行うものの、担当職員との改善などにとどまってしまったため、職員の共有の方法を見直します。
- 松山市のチェックリストに基づき危険箇所を毎日の安全点検と毎月1回点検しています。また、松山市の施設点検マニュアルに基づく施設点検を年3回行いました。施設設備の老朽化している箇所などは松山市に修繕を依頼し対応しています。

#### ⑪休日保育

- 利用時間：日曜、祝日、8時～18時、未満児6名以上児10名程度まで受け入れて実施しました。
- 休日保育は年間延324人の利用があり、昨年度とほぼ同じ程度の利用実績となりました。

#### ⑫その他

- 安田式運動遊具低年齢児用ブランコ2台セットを購入しました。
- 松山市によるエアコン入れ替え工事が11月に完了しました。
- 松山市による給食室内食器洗浄機・回転窯の取り換え工事を行いました。
- 園庭人工芝設置工事が3月29日に完了しました。